

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 118	提案機関名 神奈川県牛乳普及協会
要望問題名 神奈川県牛乳・乳製品に対する県民ニーズの調査	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 県内の酪農の生産する牛乳を、付加価値をつけ如何に消費者に届けるかが、大変重要な課題であると考えている。 畜産物の中でも、牛乳は差別化（ブランド化）が難しい畜産物であるが、本県の様な大消費地の真ただ中で（これだけ多くの人口を擁し、大消費地にも関わらず、未だ200戸酪農家生産を続けている中）、如何に経営にプラスとなるような生産物の販売は何か（本県の特性はあるか）を探る必要があると考える。 また、生産された牛乳が、県内の乳業メーカーから、いち早く消費者の手に渡ると言う恵まれた立地もあることを生かす必要がある。 それには、消費者の牛乳や乳製品に求めるものは何か。「真に神奈川県が求めるものは何か」、消費者調査を実施し、今後の酪農生産の一助となればと考案提案いたします。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input type="checkbox"/> ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 ご提案内容には2つの課題が含まれていると解釈しましたので、分けて対応を回答します。 (1) 「(神奈川県)消費者が求める牛乳は何か」を知る消費者調査 ご提案に関する消費者調査は、(一社)Jミルクが万人を対象に実施しており*、その結果では消費者が求める牛乳機能は、①骨の状態を良くする、②精神状態や睡眠の質を良くする、③生活習慣病を予防・改善する、④病気を予防する、という4つの効果に集約されると報告しています。神奈川県が求める牛乳の要素も同様であると考えますので、下記資料をご参考にして下さい。 (2) 大消費地での酪農経営でプラスになる販売方法 生産現場と消費地が物理的に近くても、生産販売ルートが従来型であればメリットはありません。一部の酪農家で実施している牧場に隣接してジェラート等の直売所を設置、販売することは経営にプラスになる手段と思います。但し、牛乳については製品化までに多額の初期費用がかかり、販売ノウハウのない生産者が始めるには、リスクが大きいと思います。例えば、県内農業高校の牛乳製造ラインを借りられないか打診し、可能なら小ロットで製造し、製造販売ノウハウを積み上げることからスタートしたら如何でしょうか。当所ではテスト販売時の消費者意向調査についてご協力いたします。 ※「牛乳乳製品に関する食生活動向調査2013」(一社)Jミルクで全国10,000人(15～60代男女)を対象。			
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内		
備考			